

日本を中継基地にした米韓合同演習に抗議する(談話)

2016年3月8日

安保破棄中央実行委員会

事務局長 東森英男

今月7日から韓国で始まった過去最大規模の米韓合同軍事演習に在日米軍基地から戦闘機が出撃し、在日米軍部隊が参加しています。

今回の米韓合同演習では、北朝鮮の核・ミサイル施設への先制攻撃も想定されているといわれ、軍事挑発をはらんだ重大な演習です。このような演習に日本の基地を使用して、艦船や兵員を派遣することは許されません。

演習には、米軍約1万7千人が参加していますが、その多くが在日米軍基地を中継して参加しています。最新鋭のステルス戦闘機F22は東京・横田基地と、沖縄・嘉手納基地を経由して韓国に移動しています。また、青森・三沢基地のF16戦闘機、横田基地のC130輸送機が参加するとともに、嘉手納基地の空軍特殊部隊をMC130特殊作戦機が輸送しています。さらに、横須賀の原子力空母ロナルド・レーガンの艦載機や、佐世保を母港とする強襲揚陸艦ボノムリシャールがMV22オスプレイと沖縄の海兵隊部隊を輸送し、岩国基地の垂直離着陸機AV8Bハリアーなども投入されるとしています。

戦争法が強行されたもとの、このような軍事演習に参加する米艦船に自衛隊が乗り込んで共同演習をおこなったり、燃料補給を受けるなどの動きが急速に強まっています。戦争法が施行されれば、日米軍事一体化がすすみ、さらに重大な事態になりかねません。

私たちは、北朝鮮の核実験やミサイル発射などの暴挙に抗議するとともに、問題を6カ国協議などの話し合いによって解決すべきだと考えます。

以上の立場から、日本政府が米軍に対して、日本国内の基地を使った演習参加の中止を求めるよう要請します。そして、日本を戦争に巻き込みかねない戦争法廃止のためにたたかう決意を表明します。

以上